



一 般 質 問 通 告 書

□一括方式

■一問一答方式

質問

順位

11

東海村議会議長 吉田 充宏 様

議席番号 16 番 議員氏名 越智 辰哉

質問事項 (件名)	高齢者の見守りと住民の理解促進	答弁者 関係部長
要旨（具体的に） 団塊の世代が後期高齢者となる時代に入り、本村においても認知症高齢者のさらなる増加が見込まれている状況の中、認知症になっても慣れ親しんだ地域で共生できるコミュニティを形成していくことが重要な課題となっている。 1. あんしん・おかえりネットワークについて 認知症の方が行方不明になった際の早期発見・保護につなげるための仕組みは、どう構築され、どのように運用されているのか。またその実績等について伺う。 2. おかえりマークについて 認知症により行方不明になるおそれのある方等の情報を事前に登録する「おかえりマーク」の普及状況はどうか。行政や警察との連携体制やその実績等について伺う。		

質問事項 (件名)	学校現場における自転車の安全教育	答弁者 関係部長
要旨（具体的に） 近年、自転車事故の増加傾向や道路交通法の改正等、自転車を取り巻く環境は大きく変化している。自動車と異なり、自転車には教習所のような体系的な学びの場が存在しないため、学校現場での安全教育が子どもたちの命を守る基礎となり、将来の交通マナーの定着にも直結するものと考ええる。 1. 学校現場において、交通安全教室での自転車の正しい交通マナー等に関する指導の現状は。 2. 交通安全こども自転車茨城県大会が来年度は本村が輪番校となる予定だが、同大会について、これまで本村がどう関わって来たのか。また次年度の取組は。 3. 中学1年生に配布する通学用ヘルメットがスポーツタイプに変更されたが、生徒たちの受け止めや着用状況に変化は見られるか。		

氏 名	越智 辰哉	No. 2
-----	-------	-------

質問事項 (件名)	原子力災害時における 避難行動に関する住民の意向把握	答弁者 関係部長、村長
要旨（具体的に） 1. 避難訓練について 原子力発電所の立地自治体として、広域避難における実効性向上に向けた不断の取組を高く評価する。今年度も避難先自治体との間で避難訓練の実施が計画・予定されているが、訓練の具体的なスケジュールや特に重点的に検証・確認しようとしている課題（テーマ）について伺う。 2. 避難行動に関する住民の意向把握について 現在の避難計画は、行政があらかじめ確保した施設へ住民が順次移動・収容される「ターミナル方式」を前提に全住民約 38,000 人分の避難所が確保されている。しかしながら、実際の災害時には行政の避難所を使わず、安全な地域にいる親族や知人宅を頼る「縁故避難」を選択する住民も一定数存在すると推測される。こうした避難行動に関する住民の意向把握を行うべきと考えるが、見解を伺う。		

質問事項 (件名)	出生数の要因分析と 未婚化を見据えた経済的土台づくり	答弁者 関係部長、村長
要旨（具体的に） 1. 出生数の要因分析について 東海村の年間出生数は長期的な減少傾向にあるが、直近では出生数が若干上昇に転じる動きも見受けられる。一時的な歯止めや微増の背景について、村としてどのような要因（どの施策がどう作用したのかなど）があると分析しているか。 2. 未婚化を見据えた経済的土台づくりについて 国全体のマクロな動向を見ると「結婚したカップルの出生数自体は大きく変わっておらず、婚姻数の減少（未婚化・晩婚化）に起因している」との報告がある。出産・子育て期への表面的な支援や目先の移住定住策にとどまらず、「若い世代がこの地域で働き、十分な生計を立て、将来の見通しを持って結婚に踏み切れる経済的な土台」を作ることこそが、中長期的な人口減少対策の本質だと考えるが、村の取組と見解は。 【資料請求】年間出生数の推移（過去 10 年分）		